

## 檜原学園緊急時対策マニュアルの確認について

東日本大震災時には様々な問題点が浮かび上がり、本学園においても従来のマニュアルの見直しを図り、下記のように策定しました。

生徒が学校生活を送っている間に災害が発生した場合、生徒の安全とともに迎えに来る保護者自身の安全確保も重要なことです。また、災害時の混乱を少なくするためにも、下記の内容についてご家庭内で再度確認していただきますようお願いいたします。

### 1 多摩西部及びその近郊において震度5強以上の地震が発生（震度5強、6弱、6強、7）

「児童生徒を学校で保護しますので、保護者の方は道路等の安全を確認した後、児童生徒の迎えをお願いします。」

### 2 多摩西部及びその近郊において震度5強未満の地震が発生（震度5弱、4、3、2、1、0）

#### (1) バスが不通の場合

「児童生徒を学校で保護しますので、保護者の方は道路等の安全を確認した後、児童生徒の迎えをお願いします。」

#### (2) バスが運行している場合

「小学校、中学校ともに集団下校もしくは、通常下校させます。」

※ 2の②においては、多摩西部のJR等交通機関の混乱が考えられます。支障が生じる可能性のあるご家庭は、学校にご相談ください。

※ 登下校時、バス乗車中に地震が発生した場合には、都バス条例に従い、対応することになっています。

## 雨時の対応

## 積雪、降雪時の対応

## 自然災害発生時の対応について (旧 緊急時対策マニュアル)

児童生徒等の安全な通学および学校生活の実現を目指し、災害発生時には以下のような対応をとらせていただきます。災害時の混乱を最小限に止めるためにも、下記の内容をご家庭内で確認、共有していただきますようお願いいたします。

### 1 地震

想定 多摩西部及びその近郊において震度5強以上の地震が発生（震度5強以上）

対応 児童生徒を学校で保護した後、保護者へ引き渡し

想定 多摩西部及びその近郊において震度5強未満の地震が発生（震度5弱以下）

対応 （1）バスが不通の場合…生徒を学校で保護した後、保護者へ引き渡し

（2）バスが運行の場合…生徒及び学校施設の安全が確認され次第、授業を再開し、集団下校もしくは、通常下校

### 2 台風・大雨・降雪・積雪

想定 始業前の段階で、バスが全線不通

対応 教育委員会と協議の上、午前6時までを目処に判断・決定し、臨時休校とする。

想定 始業前の段階で、バスが一部地区のみ不通

対応 教育委員会と協議の上、午前6時までを目処に判断・決定し、該当地区を自宅学習とする。  
それ以外の地区は、通常どおりの登校とする。

想定 始業前の段階で、気象状況から「警報」の発令が想定される等、危険性が高い場合

対応 教育委員会と協議の上、午前6時までを目処に判断・決定し、臨時休校とする。

想定 登校後、バスが不通となる場合

対応 教育委員会と協議の上、授業を中断し下校とする。

なお、下校前にバスが不通となった場合は、学校で生徒を待機させ、保護者へ引き渡し。

その他 ・登下校中の安全の確保に不安や心配がある場合は、各ご家庭の判断により、登校を見合わせてください。その際は、必ず学校に連絡をお願いいたします。

・お迎えに来ていただく保護者自身の安全確保も重要となります。お迎えが困難な場合にはご相談ください。